光晴会病院化学療法委員会
2024 年 3 月 1 日改訂

トラスツズマブ+XC 療法

患者番号:　　氏名:　　性別：　　年齢:

がん種（適応）	乳癌		
開始年月日	年　月　日	1 コース期間	21　日間
体格	身長　cm　体重　kg　体表面積　㎡		
嘔気・嘔吐リスク	中等度	制吐剤	なし
特記事項 （トラスツズマブ）	※【投与時間について】 初回 90 分、2 回目 60 分、3 回目以降は 30 分まで短縮可能 【投与量について】 投与予定日より 1 週間を超えた場合は初回量（8mg/kg）での投与を行う 【心機能検査について】 心エコーを実施する（心疾患あり：6-8 週毎、心疾患なし：12 週毎）		
カペシタビンの 投与量について			

体表面積	初回投与量
1.31 ㎡未満	900mg（3 錠）/ 回
1.31 以上～1.64 ㎡未満	1200mg（4 錠）/ 回
1.64 ㎡以上	1500mg（5 錠）/ 回

投与薬剤	投与量	投与時間	投与スケジュール
トラスツズマブ	初回　mg（8mg/kg）	※	Day1
	2 回目以降　mg（6mg/kg）		
カペシタビン	mg / 回　※投与量は上記参照		2 週投与 1 週休薬
エンドキサン	mg / 回（32.5mg/㎡） ※1 錠 50mg を考慮する		2 週投与 1 週休薬

【処方が必要な内服薬】

カペシタビン（300）　錠　×朝夕食後
エンドキサン（50）　錠　×朝夕食後
ピドキサール（10）6 錠 3×毎食後　　尿素クリーム 10%　1 日 5 回以上塗布
※初回のみ　ジクロフェナク坐薬 25 ㎎　トラスツズマブ開始 30 分前
※2 回目以降必要時　カロナール（200）2 錠　トラスツズマブ後の発熱時

□HBs 抗原(+) → 消化器内科紹介
□HBs 抗原(−) → □HBs 抗体(−)and HBc 抗体(−)
□HBs 抗体(+)and/or HBc 抗体(+) → □HBV-DNA 定量(−) → 3 ヵ月毎 定量
□HBV-DNA 定量(+) → 消化器内科紹介

指示医師サイン＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿